

文章検

2025年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 [不許複製]
文章読解・作成能力検定 準2級F 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

第1問 [30点]

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 1 ア | 2 ウ | 3 エ | 4 ア | 5 ア |
| 問2 | 1 イ | 2 エ | 3 エ | | |

第2問 [30点]

- | | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 問1 | ア | | | | |
| 問2 | イ | ウ | エ | ア | |
| 問3 | イ | ウ | エ | ア | |

第3問 [30点]

- 問1 ア

第4問 [40点]

- 問1 1 法 → 報

2 お願いになります → お願いいたします／お願い申し上げます

3 正直な

問2

解答例

十年前までのA町商店街のことは図書室の本でよくわかりました。しかし、十年前から現在までのことは、まだよくわかりません。そこで、商店街のみなさまにインタビューでお話を伺いたいのです。(25字×4行)

裏へ続く

検定日
2026年
1月30日



作成例1 「目標のレベルを下げる」とい 立場

現在高校2年生である私は、高校入学時から語学の検定試験への挑戦を続けてきた。この検定で2級以上に合格すれば、大学入試の際に外国語の受験免除が期待できることからだ。検定試験の勉強を始めた当初の私は、いきなり2級を受検して合格することを目指した。だが、いざ単語集や問題集を買い込んで取り組みはじめたところ、その内容は自分の実力をはるかに超えていた。私は、このままでは何も身につかないと判断し、思い切って目標を3級に下げた。すると、易しくなった内容が頭に入るようになつて学習がはかどり、合格することができた。そして、この経験を土台に、次の試験では2級に合格することができた。

目標を立てて何事かに取り組んでいると困難に直面することがある。そのようなときには、目標のレベルを下げるよいと考える。

困難に直面するのは、目標が高すぎて現在の自分に可能な取り組みの限界を超えているからである。目標のレベルを下げるにより、達成に向けて取り組むべき内容が容易となり目標達成の可能性を高めることができる。

目標のレベルを下げなくて、現在の指導者や教材を変えることによって困難を乗り越えることができるという意見もあるだろう。しかし、新たな指導者や教材が自分に合っているとは限らない。目標のレベルを下げる方が確実である。

(25字×24行)

作成例2 「目標のレベルを下げるのはよくない」立場

私の所属するバスケットボール部は、創部以来、地区大会優勝を目指してきた。しかし、同じ地区には強豪校がひしめいている。追いつき追い越そうと練習を重ねても足元にも及ばない状況が続き、これまでの最高成績はベスト8進出にとどまっている。そのため今年は、地区大会の目標をベスト4進出に引き下げ、確実なステップアップを目指すことになった。ところが、レベルの近い学校に確実に勝つための練習となつたことにより、知らず知らずのうちに練習の強度が落ちてしまつた。地区大会を前にした練習試合では連敗が続き、ベスト8進出も怪しい状況に陥っている。

目標を立てて物事に取り組んでいるとき、うまくいかなければ目標のレベルを下げたくなることがある。しかし、目標のレベルを下げるのはよくないと考える。

目標のレベルを下げると、実力の大幅な向上は不要だと思うようになり、目標達成に向けての取り組みが甘くなる。結果として、レベルを下げた新たな目標の達成すら危うくなりかねない。

もし目標を達成できなかつたら、何も得られないことになるのだから、達成が困難な目標は下げるべきだという意見もある。しかし、目標を達成できなかつたとしても、目標達成にむけた過程で得た知識や能力は備わる。また、その知識や能力は、次の目標に挑戦するときに生かすことができる。よって、何も得られないということはない。

(25字×25行)

D C B A

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つなぎの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 B: 意見 C: 理由 D: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落: 意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落: 異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

*行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

文章検

2025年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 (不許複製)
文章読解・作成能力検定 3級 F 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

第1問 [30点]

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 1 ウ | 2 ウ | 3 ア | 4 ア | 5 イ |
| 問2 | 1 イ | 2 ウ | 3 ウ | 4 ウ | 5 ウ |

第2問 [30点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | ア |
| 問2 | イ |
| 問3 | イ |

第3問 [30点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | ウ |
| 問2 | イ |
| 問3 | イ |

第4問 [40点]

- | | |
|----|---------------------|
| 問1 | 1 抱負 → 豊富 |
| 2 | お願いなさいます → お願いいたします |
| 3 | ただし |

問2

解答例

私たち帰りの空港で、民宿に荷物を一つ置き忘れたことに気づきました。それで、私も弟も、どうすればよいか分からず困っていました。すると、南さんが車で荷物を届けてくださいました。

裏へ続く

検定日
2026年
1月30日



第5問
【70点】

作成例1 「ストレートに尋ねるのがよい」立場

友人の誕生日が近づいてきて、プレゼントを何にしようか考えていたときだ。何が喜んでもらえるかがわからなかつたので、思い切って本人に尋ねた。すると「手袋が欲しい」という返事だった。色や形などの希望もしっかり聞き出し、翌日から友人の希望にぴったり合うような手袋を探した。何日かかけて、思い描いていた手袋を見つけることができ、それを無事プレゼントできた。友人は「大事に使うよ」ととても喜んしてくれた。だれかにプレゼントをするとき、何を贈ればいいか悩むことがある。そんなときは、何が欲しいかは相手にストレートに尋ねるのがよい。

なぜなら、プレゼントをあげても、それが相手にとつて気に入らないものだつたり不要なものだつたりしては意味がないと思うからだ。その点、本人に聞けば欲しいものが確実にわかる。本人に尋ねることで、相手に間違いないく喜んでもらえるプレゼントができる。

(25字×16行)

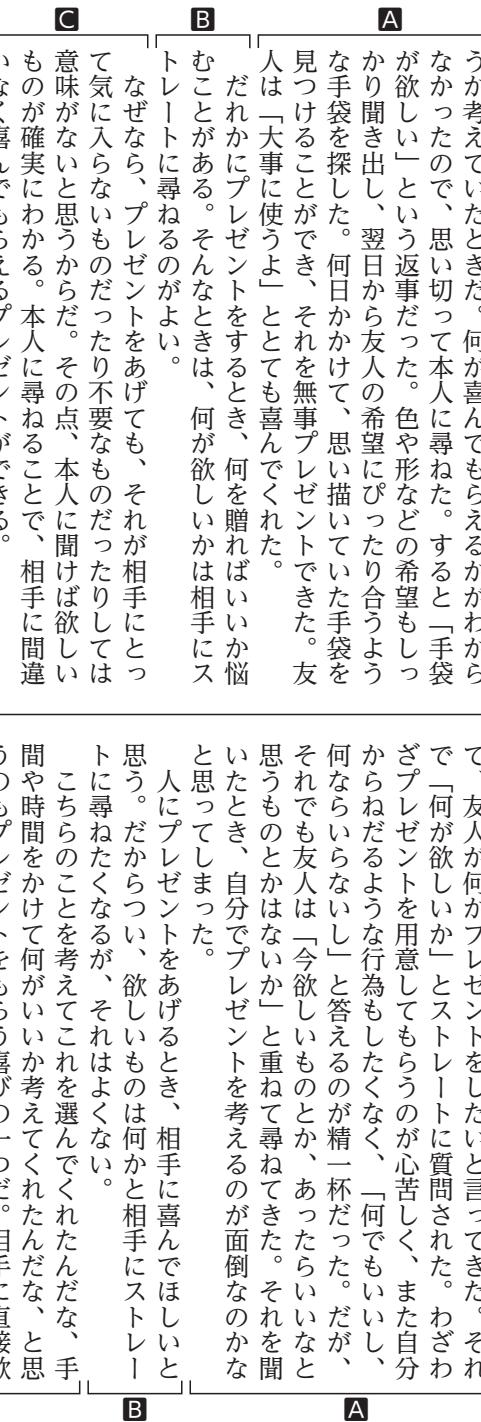
作成例2 「ストレートに尋ねるのはよくない」立場

何年か前のことだ。私が資格試験に合格したのを祝つて、友人が何かプレゼントをしたいと言つてきた。それで「何が欲しいか」とストレートに質問された。わざわざプレゼントを用意してもらうのが心苦しく、また自分からねだるような行為もしたくなく、「何でもいいし、何ならいいなし」と答えるのが精一杯だった。だが、それでも友人は「今欲しいものとか、あつたらしいなと思うものとかはないか」と重ねて尋ねてきた。それを聞いたとき、自分でプレゼントを考えるのが面倒なのかなと思つてしまつた。

人にプレゼントをあげるとき、相手に喜んでほしいと思う。だからついて、欲しいものは何かと相手にストレートに尋ねたくなるが、それはよくない。

こちらのことを考えてこれを選んでくれたんだな、手間や時間をかけて何がいいか考えてくれたんだな、と思うのもプレゼントをもらう喜びの一つだ。相手に直接欲しいものを尋ねるのは、そうした相手を思う気持ちがないと受け取られる。手抜きのように思われ、悪印象を与えることになる。

(25字×19行)



記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとめごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 B: 意見 C: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実／理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

*行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

文章検

2025年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 (不許複製)
文章読解・作成能力検定 4級 F 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

第1問 [40点]

- | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 1 ア | 2 ア | 3 ウ | 4 ア | 5 ウ |
| 問2 | 1 ア | 2 ウ | 3 イ | 4 イ | 5 ウ |

第2問 [20点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | ウ |
| 問2 | イ |

第3問 [40点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | ウ |
| 問2 | イ |

第4問 [40点]

- | | |
|----|---|
| 問1 | ウ |
| 問2 | イ |
| 問3 | ア |
| 問4 | イ |

問4

解答例

展示の種類はさまざままで、その数もとても多かったです。展示の中には、私にはすぐに理解できないものもありました。しかし、小林様のご説明で、展示の内容を理解することができました。(25字×4行)

裏へ続く

検定日
2026年
1月30日



記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 B: 意見

チェックポイント	配点
構成：事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

*行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「がまんして続ける方がよい」立場

小学校四年生の時に、地元のバスケットボールチームに入った。同じ学年の友人もいて、楽しいスタートがきれたと思っていた。しかし、3か月たったころ、友人が、日曜日に遊びに行けないことや、練習のしんどさにいやがさしたと言つてやめた。私も、練習がきついと感じていたが、できる限りがんばろうと思った。そうやって続けていくうちに、技術がどんどん上達し、練習が楽しくなった。また、少々のことではあきらめない強い気持ちも養われた。私の様子を見て、友人は、もう少し続けてみればよかつたと言つていた。

(25字×13行)

作成例2 「がまんせずにやめる方がよい」立場

中学生になり、吹奏楽部に入部した。しかし、ある先輩がとても厳しく、少しのミスでも怒られるので、先輩のまえで演奏するのが怖くなってしまった。しだいに、部活を休む日が多くなり、部員と顔を合わせるのもやくなってしまった。そんな状況が続くのがつらくて、悩んだ末に、部活をやめることにした。やめたいと言いだすのは、正直なところ勇気がいった。しかし、やめてみると、先輩に怒られたり、部活に行けなかつた自分を責めたりする日々がなくなり、心が軽くなつた。こんなことならがまんして続けず、もつと早くにやめればよかつたと思った。

いやだという感情は、強いストレスになる。習い事や部活動がいやになつてやめたいと思ったときにはがまんせずにやめる方がよい。

(25字×14行)